

図書館からの お知らせ

●図書館はみんなが利用する公共の場所です。ルールを守りましょう。

図書館利用のマナー

-  図書館は本を読む場所です。
-  図書館は学習する場所です。
-  図書館では普通の話し声では話しません。
-  図書館の本は丁寧に扱います。



●閲覧・学習机が増えました。



新聞読みくらべ！



毎日図書館に
届いています！
読んでみませんか。

朝日小学生新聞



埼玉新聞



朝日新聞



読売新聞



日本経済新聞



毎日新聞



12年生の柳田凜乃さんが高校生記者として GENERATION、EXILE、PKCZ のメンバーの白濱亜嵐さんにインタビューした新聞 2020 年 11 月・12 月号が発行されました。



柳田凜乃さんに聞いてみました。

高校生記者になるきっかけは何ですか。

以前インターネットで、高校生記者の方が取材をしている動画を見たことがきっかけです。その取材動画の中で、高校生記者として活躍されている方がはきはきと話し、的確な質問と受け答えをしながら取材をしている姿を見て、私もこのように物怖じせず、たくさんの場で取材をし、物事をわかりやすく伝える力をつけたいと思いました。また、実際の現場へ赴き、限られた時間のなかで相手に伝わりやすい感想を述べる能力も、身につけたいと思いました。高校生新聞は、インターネットでいつでも読むことができるという手軽さに加え、私と同じ高校生の視点で書かれた記事から、社会の情勢や日常に起こる些細な出来事など、さまざまな出来事を分かりやすく知ることができる点が魅力です。高校生記者として、学校だけの1つの世界にとらわれず、視野を広げ、たくさんの場で自ら発信できる存在になりたいと思っています。

白濱さんにインタビューした様子やその場で感じたことはなんですか。

この時の取材は、以前公開されていた「10 万分の 1」という映画についてでした。インタビューの中で、主演という重要な役と熱心に向き合い、原作を何度も読み返し、いつでもベストな状態で演技られるように模索したとおっしゃっていて、この映画を最高の映画にしたい！という強い思いを感じました。白濱さんご自身の高校時代について伺ったところ、テストや受験で行き詰まった時は、無理に一人で頑張ろうとせず、友達と一緒に乗り越えることで、お互いを励まし合えたという経験を語ってくださいました。また、心が沈んでしまった時には、好きなアーティストの曲などを聞くことで、ポジティブに自分を保つことができるよ、とアドバイスをいただき、共感を覚えたと同時にとても勇気が出ました。インタビューの前はとても緊張していましたが、白濱さんが優しく柔らかい雰囲気でお話くださったおかげで、楽しくインタビューすることができました。

高校生記者をやってみてどうでしたか。

高校生記者を始めたことで、今まで気に留めていなかったような日常の些細な出来事やニュースに目を向けることが増えました。高校生新聞には、時事問題などだけでなく、高校生が思っていることや体験したことなど、私たちが取り入れやすい話題がたくさんあるので、高校生新聞を通じて世の中の出来事に少しずつ目を向けられるようになりました。また、記事を書くことで、普通の高校生としては味わえないような、さまざまな貴重な体験をさせていただきました。自分が書いた記事がニュースに載っているのを見るととても嬉しいですし、記事を書くたびに反省点や改善点を見つけることができ、成長できているのかなと思います。